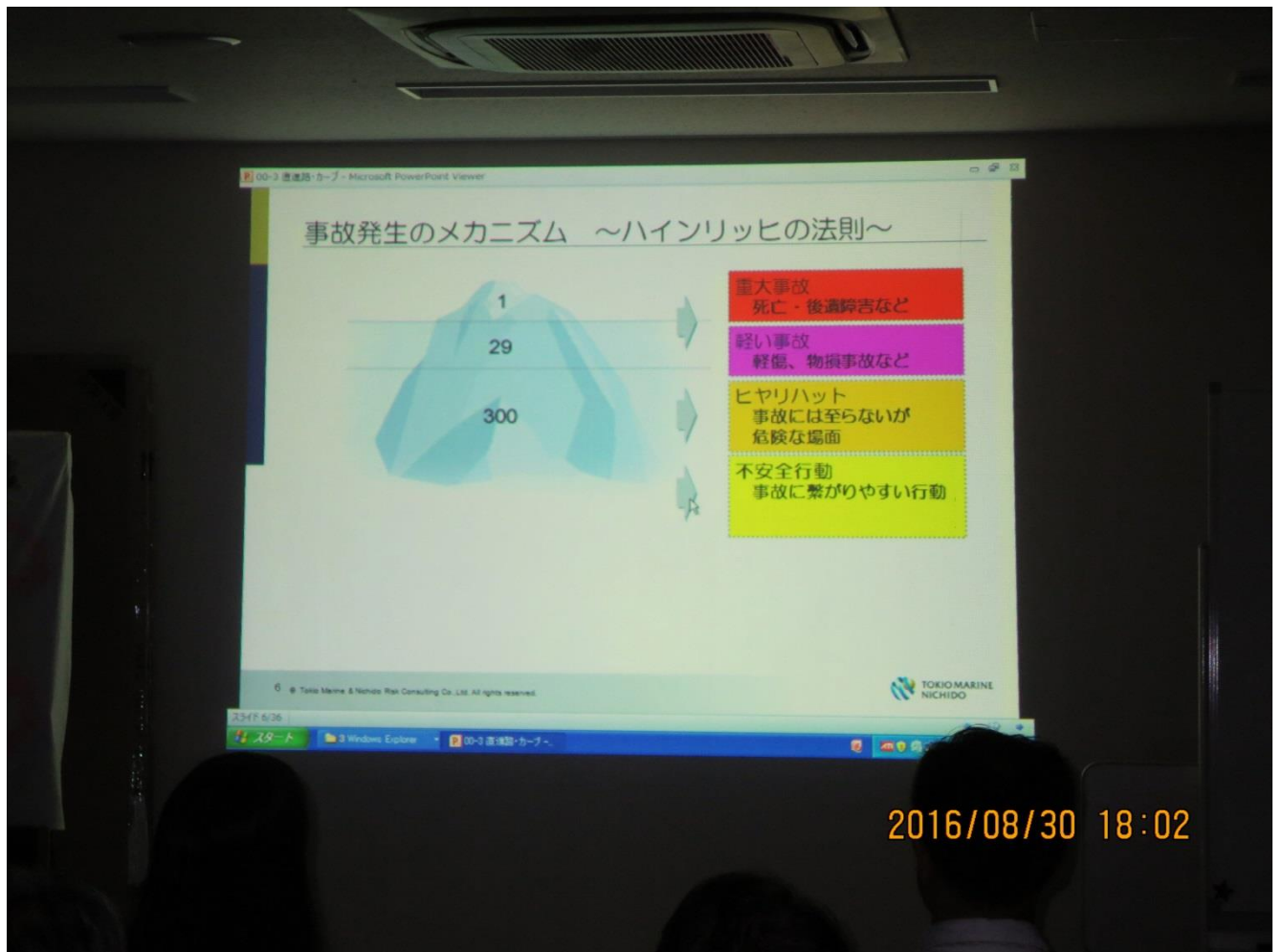




■ 講師：東京海上日動あんしんコンサルティング(株) 本店営業第二部課長 宮下 文夫 氏



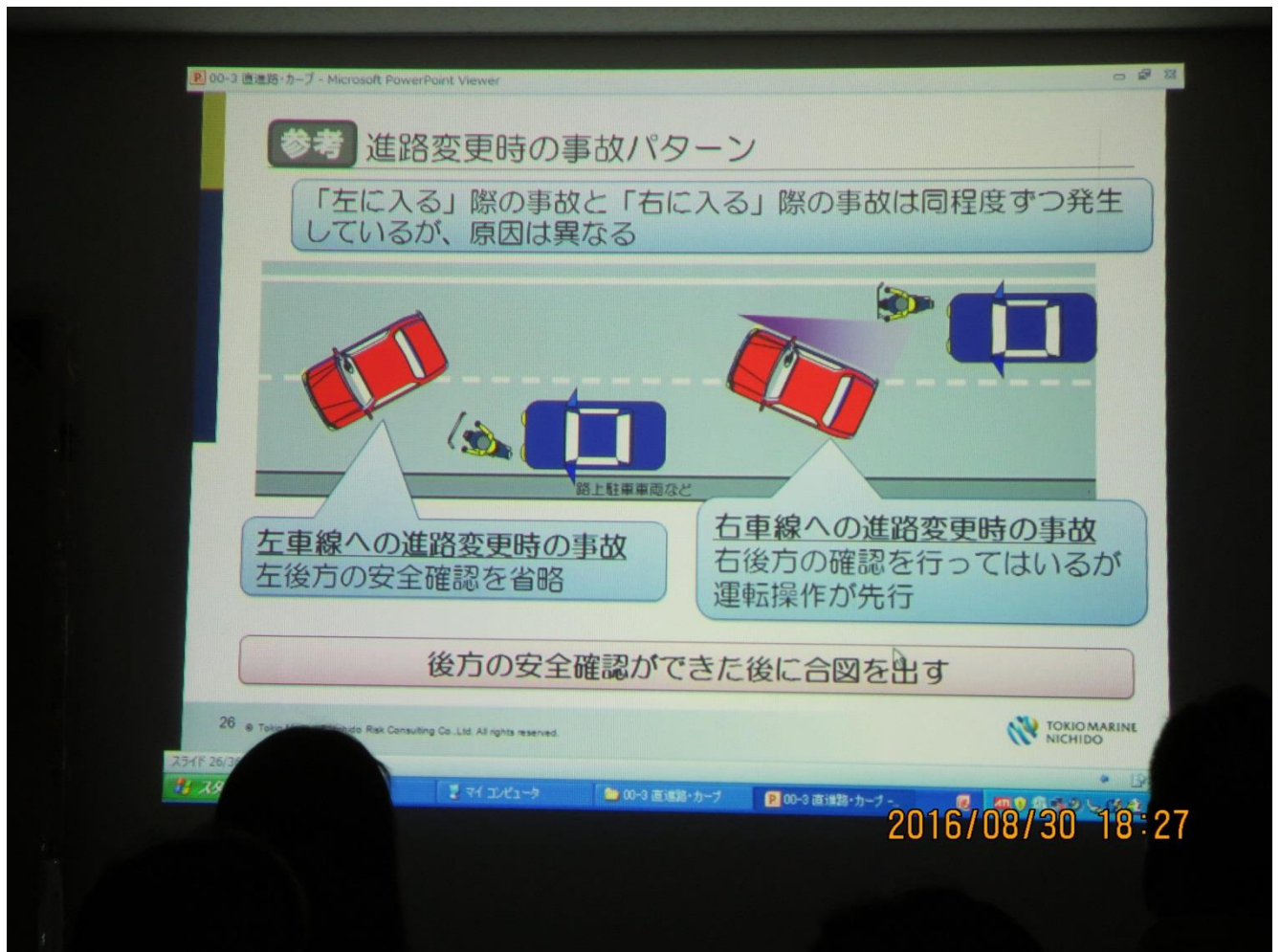
■ 法人全部署対象。自動車を運転する職員だけでなく、自転車に乗る職員も参加。



■ スライドを使用し車両安全に関するレクチャーを実施。



■ パールの車にドライレコーダーを設置、撮影・編集した画像を見て、危険予知の勉強。



■ 今回は、直進・カーブ・駐車場内での危険予知・事故の注意点について指導を受ける。

< 講 評 >

残念なことに車両（自動車・自転車）の車両事故が近年増加傾向になり、昨年度に続き今年度も自動車保険会社である東京海上日動あんしんコンサルティング(株)宮下氏を講師に招き、平成 28 年 8 月 30 日（火）18 時～19 時、パール福祉総合プラザ B1 研修室にて『車両交通安全講習会』を実施いたしました。

日頃、自動車・自転車を運転することが多い職員が参加。デイサービスの送迎ドライバー、配食サービスの配達員、在宅ケアワーカー、訪問看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員、福祉用具、事務職員等が参加。

自動車事故は誰もが起こしたくて起きるものではない。ふとした気の緩みや根拠のない自信、注意力欠如など、様々なことが原因で引き起こります。事故に至るまでには、必ずヒヤリハットする事例があり、日頃から危険を予知する能力・視点が重要となります。

普段運転しなれた道路のどこの場面に危険が潜んでいるのか、実際の映像を見ながら危険予知についての勉強を行いました。

まずは被害に合わないこと、そして決して加害者にならないよう、日頃から気をつけて運転することが求められます。また、車両はパールの広告塔。社会福祉法人パールの看板を背負って移動していることを意識し、常に見られていることを認識しながら安全運転に取り組んで参ります。

